

変位低減型深層混合処理工法
CDM-LODIC+W工法
NETIS登録番号：KTK-210004-A

CDM研究会

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4 東神田藤井ビル10F
TEL 03-5829-8760 FAX 03-5829-8761
URL <http://www.cdm-gr.com/land/cdmlodic.html>
CDM-LODIC部会 TEL.03-5644-8568 (株不動産トラ内)
[資料請求先] CDM研究会 (mail:cdm-office@takenaka-doboku.co.jp)



高圧線鉄塔に近接した施工事例



道路橋及び学校施設に近接した施工事例

概要

近接施工に実績のあるCDM-LODIC工法が、国土交通省土木工事積算基準スラリー攪拌工変位低減型（排土式）のφ1,600mm×2軸に対応した。スクリューにより排土し、ロッド引き抜き時にスラリーを吐き出す唯一の変位低減工法である。

CDM-LODIC工法は、周辺地盤や既設構造物に影響を与えずに施工することを可能にし、全国各地で採用されている。

固化材の攪拌品質を適切に評価した羽根切り回数の施工管理方法（貫入加算型施工）に加え、貫入時の地盤抵抗を軽減する補助水の利用（貫入補助水施工：LODIC+W工法）による大径や多軸での改良を可能にしたことで地盤改良コストの削減を可能にしている。

特長

本工法は攪拌混合翼の上部にスクリューを取り付け、セメントスラリー注入量に相当する土砂を強制的に排出することにより、周囲に影響を与えないCDM工法唯一の改良工法である。

1. 施工機昇降速度や軸回転数・回転方向を変えることで排土量を管理し周辺変位を制御する。
2. 排土するスクリュー下部から、ロッド引抜時にスラリーを吐き出すためスラリーが排出土に混入し難い。
3. 貫入時の羽根切り効率を考慮する貫入加算型施工では施工効率が10%向上する。

